



ALT 全国ハイレベル講習会 ～工夫してオンラインでもグループワーク～

(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部研修・カウンセリング課 主査 藤井 達也 (愛知県派遣)

全国ハイレベル講習会とは

全国ハイレベル講習会は、2年目以降の外国語指導助手 (ALT) を対象として、日本人英語指導員 (JTE) とのチーム・ティーチングの質の向上を目指し、英語教授法および教育現場で即時実践が可能な知識・技術等を習得するために ALT が JTE と共に研修に参加する実践的な研修です。2019年度は神戸のみで実施しましたが、数多くのグループワークを通して「他の先生のレッスンプランが聞けるなど非常に有意義だった」など、研修の内容が非常に好評でした。そのため、2020年度においては、東京、仙台、福岡、神戸と全国規模へと拡大し、研修内容も小学校と中学・高校向けとで分けるなど、より実践的なものとなっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、当初は対面形式で予定していた研修を、オンライン研修 (Zoom) に切り替えて実施しました。

全国ハイレベル講習会の概要

主催: (一財)自治体国際化協会
業務委託先: レクシスジャパン株式会社
参加人数: ALT 119人 JTE 57人 計176人
研修日程:

- 7月 研修オリエンテーション実施 (Zoom)
Cambridge Online 学習による自習
- 8月 東京、仙台、福岡、神戸
各所2日ずつ研修実施 (Zoom)
- 12月 東京、仙台、福岡、神戸
各所1日ずつ研修実施 (Zoom)

この他にも、全4回のポートフォリオタスク^{*}の提出
^{*}研修後に作成する、研修で学習した教授法を用いた授業計画

オンライン研修で工夫したポイント

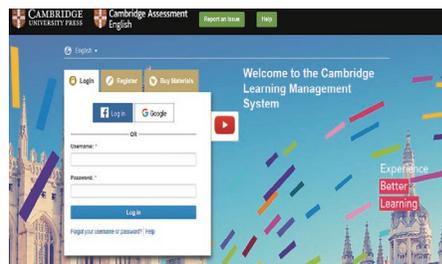
対面形式からオンライン研修へと切り替えるにあたり、主に3つのポイントで工夫しました。

まず、オンライン学習の需要が全国的に高まっていたことを踏まえ、そのコツなども研修内容に盛り込みました。具体的には、オンラインで利用できるツールについて紹介するほか、オンライン学習の注意点やテクニックを取り入れた学習プランをグループで作成するなど、時勢に合った研修内容となるように工夫をしました。

次に、研修内容の中で学習理論など座学に相当する部分については、業務委託先の協力のもと、Cambridge Online 学習ツールを用いた事前の自習方式としました。これにより、従来は終日実施していた研修時間について、8月は午後だけの時間で実施でき、グループワークなどに集中して取り組むことができました。

また、上記の Cambridge Online 学習ツールの説明や、研修当日の Zoom の音声チェックやトラブルの発生時の簡単な対応方法を確認するために、研修実施の1か月前には Zoom でのオリエンテーションも実施しました。このオリエンテーションにより、受講者は Zoom の機能であるブレイクアウトセッションを用いたグループワークの体験などができ、研修当日の進行がスムーズになったと感じます。

また、上記の Cambridge Online 学習ツールの説明や、研修当日の Zoom の音声チェックやトラブルの発生時の簡単な対応方法を確認するために、研修実施の1か月前には Zoom でのオリエンテーションも実施しました。このオリエンテーションにより、受講者は Zoom の機能であるブレイクアウトセッションを用いたグループワークの体験などができ、研修当日の進行がスムーズになったと感じます。



オンライン研修によるメリット

この研修を通して、オンライン研修によるメリットとして以下の2点を実感しました。

1点目は、急な日程変更など想定外の事態に強いということです。今年度はコロナの影響により、学校での夏

休み期間の短縮など、想定外の授業日程変更の影響を受けて、当初予定していた受講地区の日程に参加できないとの相談もありましたが、移動時間や交通費の制約が無いオンラインならでは強みを生かし、日程が合う地区での受講に切り替えるなど柔軟な対応ができ、先行きが見通しづらい状況下でのオンライン研修のメリットを大いに実感しました。また、一部の地区では定員を上回る申し込みがありましたが、Zoomのライセンス上で対応できる参加者数であれば簡単に対処できるため、対面形式の場合と比べ、圧倒的に手間が少ないことも大きなメリットでした。

2点目は、感染リスクが無く、活発なグループワークや意見交換が実現できるという点です。この研修の特色としては、数多くのグループワークを通して、他県等のALTやJTEの考え方等を学べる点にあります。その点でZoomは最適であり、研修本番では数多くのブレイクアウトセッションが実施でき、トレーナーによるフォローも相まって、対面形式と遜色の無い活発なグループワークが実現できました。また、Zoomの投票機能やチャット機能などを存分に活用し、随時受講者と意見交換も実施できたことに加えて、受講者間での即座のデータ共有などにも対応でき、非常にインタラクティブな研修が実現できました。

Activity	Type of activity (e.g. information gap)	What language/vocabulary is needed?	How can this activity be delivered? (pair-/group work)	How can this support oracy? (dialogue, instruction giving)
How many?	Information gap	How many... are there? Counting teapot, pen, fork, knife, spoon, cup, saucer, glass, plate, bowl, spider, numbers 1-20	Pair work/group work	Dialogue Giving instructions Recitation
Time Zones	Information gap	Asking and telling the time What's the time?/What time is it...? It's... Essential time vocabulary (it's half past...)	Pair work/group work	Dialogue Giving instructions Recitation Discussion
Where are my glasses?	Information gap	Where's/Where are my...? is/are they in front/under/over/next to/in front of/behind the... Furniture, household objects, possessions All items seen in the picture and prepositions	Pair work/group work	Dialogue Giving instructions Recitation Discussion
Cross Roads	Information gap	Asking where places are Where's where are...? This... is next to/opposite/behind/in front of/between/on the opposite of Places in the diagram	Pair work/group work	Dialogue Giving instructions Recitation Discussion

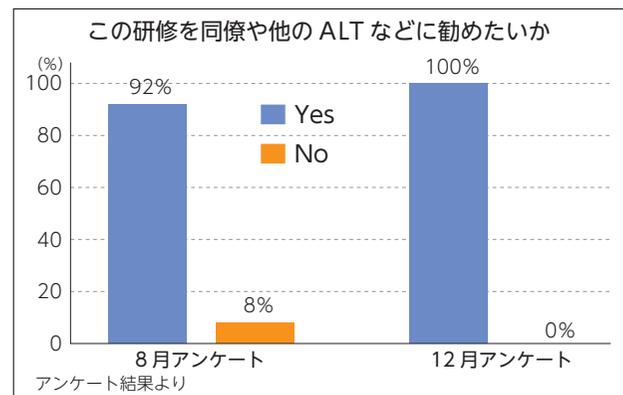
研修本番の風景

受講者からの感想

研修受講後にアンケートを実施したところ、「英語教授法を向上させる良い機会となった」、「初めてのオンライン研修であったが、オンラインの方が無駄な移動時間なども無くむしろ良かった」、「全体で話したり、グループディスカッションを進めたりとテンポよく進行され、集合して研修するよりも時間が上手く使えていた」、「色々な団体のALTやJTEとレッスンプランを作るこ

とで、とても勉強になった」、「複数のグループでレッスンプランを共有でき、とても参考になった」、「ALTと一緒に参加することで普段の授業づくりにもいい効果をもたらしていると実感する」など、今年度の研修内容も非常に好評でした。さらに特筆すべき点として、「この研修を同僚や他のALTなどに勧めたいか」という質問項目に対しては、8月と12月の研修の両方において、ほとんど全ての回答が「勧めたい」とのことで、非常に高い評価を得ることができました。本研修は、2020年度にJETプログラム事業部で初めて実施したライブ形式のオンライン研修でしたが、有益な研修機会が提供できたものと思われます。

その一方で、「チャットを使っただけのデータのやり取りで少しエラーが起きた」、「少し研修時間が長く感じた」といった意見もあり、来年度の実施に向けての検討事項も得ることができました。



2021年度の実施に向けて

2020年度の研修実績を踏まえて、2021年度の全国ハイレベル講習会についても、オンライン形式 (Zoom) により実施し、また受講クラスについては、小学校・中学校・高校と3クラスに分ける方向で検討しています。

文部科学省が定める新学習指導要領のもと、2020年度からは小学校においても、外国語活動や外国語教科の取り組みが全面実施となり、中学校、高等学校も含め、ALTとJTEによるチーム・ティーチングなどの取り組みも、より一層効果的なものとなるよう、期待が高まっている状況かと思えます。このような状況を踏まえ、全国ハイレベル講習会がより有益な研修機会となるように実施していきますので、各自治体等の皆様におかれましては、是非、積極的なご参加を検討いただけましたら幸いです。